

# 農学分野データサイエンス教育におけるPBLの事例と課題

現在、茨城大学農学部では、キャンパスに隣接する附属農場および地域の生産者、企業と連携して「応用基礎レベル」に相当する農学分野データサイエンス教育に資するカリキュラムの構築および教材の作成に取り組んでいる。「応用基礎レベル」とは、「リテラシーレベル」の教育と専門教育とをつなぐ橋渡しを目的としたものであり、それぞれの専門分野の特性に応じた演習やPBL（Project Based Learning：課題を用いた学習）等の効果的な活用による実践的スキルの習得を目指すことが推奨されている（数理・データサイエンス・AI（応用基礎）モデルカリキュラムより）。そこで本ワークショップでは、農学関連分野のPBLの実施例を紹介していただくとともに、PBL実施の効果、課題等について総合討論を行う。

日時：2024年 **3月14日** (木) 16:00～17:30  
形式：オンライン

## 【プログラム】

16:00-16:05 **開会の辞** 宮口 右二 農学部長（茨城大学）  
16:05-16:10 **趣旨説明** 岡山 毅（茨城大学）

## 事例紹介

16:10-17:00  
**獣害対策を題材としたPBLの紹介** 川添 充（大阪公立大学）  
**大規模ハウレンソウハウス群の土壌分析PBLの紹介** 齊藤竜馬（アイアグリ）  
**ヤギの行動解析PBLの紹介** 津田和呂（JFEテクノリサーチ）・安江 健（茨城大学）

## 総合討論

17:00-17:25  
コーディネータ：小松崎将一（茨城大学）  
  
17:25-17:30 **挨拶** 小林 亮太（東京大学）  
17:30 **閉会の辞** 小松崎 将一（茨城大学）



お  
申  
込  
み

Webサイトより事前登録（事前登録のうえ、アクセス情報を取得してご参加ください）

<https://forms.gle/EZd13nbgLi7wre8B9>

定員300名 ※関東ブロック以外、会員校以外の皆様にもご参加いただけます



主催

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム 関東ブロック連携校 茨城大学



数理・データサイエンス・AI  
教育強化拠点コンソーシアム

お問い合わせ 茨城大学農学部 岡山 毅  
E-mail: tsuyoshi.okayama.3@vc.ibaraki.ac.jp

参加  
無料